

第八十三回帝國議會
衆議院

會計法戰時特例中改正法律案外四件委員會會議錄(速記)第一回

本委員ハ昭和十八年十月二十六日(火曜日)
議長ノ指名ヲ以テ左ノ通選定セラレタリ

赤城 宗徳君

池田正之輔君

池本甚四郎君

大石 齊治君

川上 胤三君

川副 隆君

金子彦太郎君

金光 邦三君

勝 正憲君

柏原 幸一君

田部 朋之君

豐田 收君

中川 重春君

成島 勇君

山口左右平君

矢野庄太郎君

吉川 亮夫君

渡邊善十郎君

同日午後六時五十二分委員長理事互選ノ爲
委員參集ス
其ノ氏名左ノ如シ

赤城 宗徳君

池田正之輔君

池本甚四郎君

大石 齊治君

川上 胤三君

川副 隆君

金子彦太郎君

金光 邦三君

勝 正憲君

柏原 幸一君

田部 朋之君

豐田 收君

中川 重春君

成島 勇君

山口左右平君

矢野庄太郎君

吉川 亮夫君

渡邊善十郎君

〔年長者大石齊治君投票管理者ト爲ル〕

○大石投票管理者 是ヨリ開會致シマス、

先例ニ依リマシテ私年長ノ故ヲ以チマシテ
投票管理者トナリ、是ヨリ委員長及ビ理事

ノ互選ヲ行ヒマス

○川副委員長 投票ヲ用ヒズシテ、豐田收君
ヲ委員長ニ御推薦申上ゲタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○大石投票管理者 川副君ノ御意見ニ御異
議ナシト認メマス、仍テ豐田收君ガ委員長

ニ御當選ニナリマシタ、ドウゾ御着席ヲ願
ヒマス

〔拍手起ル〕

〔豐田收君委員長席ニ着ク〕

○豐田委員長 御推舉ニ依リマシテ不肖デ
アリマスケレドモ、委員長ノ席ヲ汚スコト

ニ致シマス、是ヨリ理事ノ互選ヲ行ヒマス

○川副委員長 理事ハ其ノ數ヲ三名トシ、委
員長ニ於テ御指名セラレンコトヲ望ミマス

○豐田委員長 川副君ノ動議ニ御異議アリ
マセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○豐田委員長 御異議ガアリマセヌケレバ、
甚ダ失禮デアリマスケレドモ、私ヨリ理事

ヲ指名致シマス

赤城 宗徳君

池本甚四郎君

川副 隆君

以上三名ノ方ニ理事ヲ御願ヒスルコトニ致
シマス、御承認ヲ願ヒマス

昭和十八年十月二十六日(火曜日)午後七時

○分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 豐田 收君

理事 赤城 宗徳君

理事 池本甚四郎君

理事 川副 隆君

池田正之輔君

大石 齊治君

川上 胤三君

金子彦太郎君

勝 正憲君

田部 朋之君

豐田 收君

成島 勇君

山口左右平君

矢野庄太郎君

吉川 亮夫君

渡邊善十郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 谷口 恒二君

大藏省主計局長 植木庚子郎君

大藏書記官 窪谷 直光君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

會計法戰時特例中改正法律案(政府提出)

帝國鐵道會計法中改正法律案(政府提出)

所得稅法及地租法中改正法律案(政府提出)

國有財産法中改正法律案(政府提出)

國債關係事務簡捷化ニ關スル法律案(政
府提出)

○豐田委員長 今大藏次官ガ來テ提案ノ說
明ヲ致スサウデアリマスカラ、暫クオ待チ

ヲ願ヒマス——ソレデハ是カラ谷口大藏次
官カラ本委員會ニ付託セラレマシタ諸法案

付託議案

會計法戰時特例中改正法律案(政
府提出)(第三號)

帝國鐵道會計法中改正法律案(政
府提出)(第四號)

所得稅法及地租法中改正法律案
(政府提出)(第五號)

國有財産法中改正法律案(政府提
出)(第六號)

國債關係事務簡捷化ニ關スル法律
案(政府提出)(第七號)

ノ提案ノ理由ノ説明ヲ伺フコトニ致シマス

○谷口政府委員 本委員會ニ付託ニ相成リ
マシタ會計法戰時特例中改正法律案外四件

ニ付キマシテ御説明申上ゲマス

政府ニ於キマシテハ、去ル九月二十一日

閣議ニ於テ決定ヲ見マシタ「現情勢下ニ於
ケル國政運營業要綱」ノ趣旨ニ基キマシテ、

國內態勢ノ整備強化ヲ圖ル爲メ、行政機構

ノ改革、行政事務ノ徹底簡素化、其ノ他戰

時下緊要ナル各般ノ施策ニ付キマシテ、着

着其ノ具體化ヲ取急ギ、戰力ノ飛躍的増強

ヲ圖ルコトヲ期シテ居ル次第デアリマス、

本委員會ニ付託ニ相成リマシタ會計法戰時

特例中改正法律案外四件ノ法律案モ、亦右

ノ趣旨ニ基キマシテ提案セラレタノデアリ

マシテ、決戦下ニ於ケル會計事務、所得稅

及ビ田租徵收事務、國有財産關係事務並ニ

國債關係事務等ニ付キマシテ、是ガ徹底の

簡捷化ヲ圖リ、以テ人的及ビ物的資源ノ節

約ヲ圖ルコトトシ、決戦下行政ノ萬全ヲ期

セントスルモノデアリマス

先ヅ會計法戰時特例中改正法律案ニ付テ

御説明申上ゲマス、會計法戰時特例中改正

法律案提出ノ理由ハ、本會議ニ於テモ申上

ゲタ通りデアリマシテ、政府ハ所謂支那事

變ノ勃發以來、昭和十二年勅令第五百八十

四號、昭和十三年法律第十六號及ビ之ニ基

ク同年勅令第六十二號ノ制定ニ依リ、資金前渡、前金拂、概算拂又ハ隨意契約ヲナシ得ル範圍ヲ廣メ、大東亞戰爭トナリマシテカラ前述ノ法律及ビ勅令ヲ吸收シテ、會計法戰時特例及ビ會計規則等戰時特例ヲ制定シ、前金拂又ハ概算拂ヲナシ得ル範圍ヲ擴張致シマシテ、戰時金融ノ圓滑ヲ圖リ、又陸海軍ノ出納官吏ノ辨償責任ノ認定ニ關シ必要ナル制度ヲ設ケマスル等、戰時ノ實情ニ即シマシタル各般ノ措置ヲ講ジテ參ツタノデアリマス

然ル所、現下決戰連續ノ時局ニ顧ミマシテ、行政運営ノ決戰化ヲ圖ル爲メ、戰時非常ノ措置トシテ、豫算及ビ決算ニ關スル事務ノ簡捷化ヲ圖ルコトトシ、豫算ノ形式ヲ成ベク單純化シ、豫算ノ編成ヲ敏速容易ナラシメ、豫算ノ實行ヲ所謂機動的且ツ效果的ナラシメマスルト共ニ、決算事務ノ簡捷化ヲ圖ルノ措置ヲ講ズルコトト致シタノデアリマス、而シテ是等ノ措置ニ付キマシテハ、法律ノ改正ヲ要セズシテ處理シ得ルモノモアリマスガ、次ニ申述ベマスル事項ニ付キマシテハ、法律ノ改正ヲ必要ト致スノデアリマス

先ヅ戰局ノ推移ニ伴フ各種事情ノ變化等ニ依リマシテ、補助ノ目的タル事業ノ進捗ガ已ムヲ得ズ遲延シ、其ノ他避クベカラザル事故ノ爲メ年度内ニ補助費ノ支出ヲ終ルコトガ出來マセヌ時ハ、豫算ニ於テ明許ヲ得マシタ場合、其ノ他法律ニ定メアリマスル場合ノ外、之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得ルコトト致ス必要ガアリ、次ニ現下ノ經濟事情ニ應ジマスルト共ニ、契約事務ノ簡捷化ヲ圖リマスル爲メ、不動産賣拂以外ノ契約ニ付キマシテハ、會計法第三十

一條ノ規定ニ拘ラズ、指名競争ニ付シ、又ハ隨意契約ニ依ルコトヲ得ルコトト致スノ必要ガアリ、又會計ニ關スル事務ノ簡捷ヲ圖リマスル爲メ、必要アル時ハ一ノ會計又ハ勘定ニ屬シマスル特定ノ經費又ハ收入ヲ、勅令ノ定ムル所ニ依リ他ノ會計又ハ勘定ニ屬セシムルコトヲ得マスルト共ニ、此ノ場合ニ於テハ豫算ノ定ムル所ニ依リ、當該會計又ハ勘定間ニ於テ必要ナル收支ノ調整ヲナスコトト致ス必要ガアルノデアリマス

次ニ帝國鐵道會計法中改正法律案ニ付キ説明申上ゲマス、陸運ノ用ニ供スル車輛其ノ他ノ機械器具ノ製造、修理、加工等ノ事業ニ關スル監督、統制等ノ事務及ビ倉庫營業ニ關スル監督、統制等ノ事務ハ、從來商工大臣ノ管理ニ屬シテ居リマシタガ、自動車ノ製造ニ關スルモノヲ除クノ外、今回新タニ設置セラレマスル運輸通信省ニ於テ之ヲ行フコトト相成リマシタル所、是等ノ事務ノ執行ニ必要ナル諸費用ハ、從來ノ鐵道、軌道其ノ他陸運ニ關スル監督等ノ諸費用ヲ帝國鐵道特別會計ニ所屬セシメテ居リマスノト同様ノ取扱ト致シマスノヲ適當ト存ゼラルルノデアリマス、而シテ是ガ爲ニ

ハ帝國鐵道會計法第七條ヲ改正シ、前述ノ諸費用ヲ帝國鐵道特別會計ノ所屬ト致シマスルト共ニ、同會計收益勘定ノ歲出トシテ支出スベキ旨ヲ規定スルノ必要ガアリマス關係上、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ所得稅法及地租法中改正法律案ニ付テ御説明申上ゲマス、國內決戰態勢ノ強化ニ伴ヒマシテ、各般ノ行政ニ互ツテ其ノ簡捷化ヲ圖ルコトハ愈々緊切ノ度ヲ増シテ參ツタノデアリマシテ、國民生活ニ極メテ密

接ナル關係アル稅務行政ニ付キマシテモ、出來得ル限リ簡素化シ、人的及ビ物的資源ノ節減ヲ圖ルコトトシ、目下其ノ具體案ニ付キ研究致シテ居ルノデアリマスガ、所得稅法及ビ地租法ニ關シテ差當リ適當ト認メラルル改正ヲ行フコトト致シタノデアリマス

先ヅ所得稅ニ付テデアリマスガ、從來甲種ノ配當利子所得ニ付キマシテハ、總テ支拂期日又ハ支拂ノ確定致シマシタ日ニ於ケル稅率ニ依リ分類所得稅ヲ徵收シ來ツタノデアリマス、是ハ最近ノ如ク屢々、稅率ノ改正アル時代ニ於キマシテハ、新稅率ニ依ルモノト舊稅率ニ依ルモノトヲ區別シテ徵稅スルヲ要シマスル關係上、特ニ公社債ニ付キマシテハ、利子ノ受領ヲ遲延スル向モアリマスルノデ、此ノ場合ニ於キマシテハ、徵稅事務ハ極メテ煩雜ナルヲ免レナイノデアリマス、今回之ヲ改正致シマシテ、甲種ノ配當利子所得中、公社債ノ利子ニ對スル分類所得稅ハ、實際ニ支拂ヲ受ケタル時ニ於ケル稅率ニ依リ課稅スルコトトシ、以テ徵收義務者ノ事務ノ簡捷化ヲ圖ルコトト致シタノデアリマス

次ニ地租法ニ付キマシテハ、二ツノ點ニ付キマシテ簡易化スルコトト致シタノデアリマス、第一ハ、田租ノ納期ハ現在一月及ビ三月ノ二回トナツテ居ルノデアリマス、之ヲ二月一回ト致シタノデアリマス、田租ノ納稅者ハ二百五十餘方ノ多數デアリマスルガ、各人ノ納稅額ハ極メテ少額ノモノガ多イ現狀デアリマシテ、之ニ依リ納稅上及ビ徵收上ノ手數省略ニ費スルコト大ナルモノアリト存ズルノデアリマス、第二ニ小農耕地免租ニ關スル申請ハ、現在ハ毎年三

月之ヲ提出スルヲ要スルコトトナツテ居ルノデアリマスガ、同一田畑ニ付テハ一度提出スレバ重ネテ之ヲ要セザルコトニ改正シ、以テ申請者ノ手數ヲ簡易化セントスルノデアリマス

次ニ國有財產法中改正法律案ニ付キマシテ説明申上ゲマス、現在ノ國有財產法ニ依リマスレバ、毎會計年度間ニ於ケル國有財產増減總計算書及ビ毎五年三月三十一日現在ノ國有財產現在額總計算書ヲ帝國議會ニ提出致シマス際ニハ、ソレノ其ノ添附書類トシテ、各省ノ國有財產増減報告書又ハ國有財產現在額報告書ヲ提出スルコトヲ要スルコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、而シテ此ノ添附書類タル各省ノ國有財產増減報告書及ビ國有財產現在額報告書ハソレノ總計算書中ノ各省分ニ付キマシテ、其ノ明細ヲ記載シテアルノデアリマスルガ、之ヲ調製スル爲ニハ多大ノ人手ト資材トヲ要スルノデアリマス、然ルニ今や戰局ハ愈々緊迫化シ、國家ノ總力ハ舉ゲテ之ヲ戰力ノ飛躍的増強ニ寄與セシムベキノ秋ニ立ツタノデアリマス、仍テ茲ニ國有財產法中第二十六條ニ關シ、戰時下ニ於ケル特例ヲ設ケ、大東亞戰爭中及ビ其ノ終了後一年間ヲ限リマシテ、各省ノ國有財產増減報告書及ビ國有財產現在額報告書ヲ添付ハ之ヲ省略シ得ルコトトシ、以テ人的及ビ物的資源ノ節約ヲ圖ラントスルモノデアリマス

次ニ國債關係事務簡捷化ニ關スル法律案ニ付キマシテ、其ノ提出ノ理由ヲ説明致シマス、本法案ハ内外重大ナル現時局ニ即應シ、一層國內態勢ヲ強化ヲ圖ルノ要アルニ鑑ミマシテ、國債關係事務ニ於キマシテモ、極力是ガ簡捷化ヲ圖ラントスルモノデアリ

マシテ、其ノ主ナル點ヲ説明致シマス

第一ハ登錄國債ニ對スル記名證券ノ發行ヲ廢止セントスルコトデアリマス、從來登錄國債ニ對シマシテモ、債權者ノ請求ガアリマス場合ニハ、記名證券ヲ發行シテ居ルノデアリマスガ、國債ヲ登錄致シマシタ上ニ更ニ記名證券ヲ發行スルコトハ、徒ラニ國債事務ヲ煩雜ナラシメルノミデアリマシテ、必ズシモ必要ナコトデアリナイノデアリマスルシ、又斯カル登錄國債ノ方法ハ、現在ノ所左程利用サレテ居リマセヌノデ、今般明治十九年法律第三十四號ヲ改正シ、今後登錄國債ニ對シテハ記名證券ヲ發行スルコトヲ廢止セントスルモデアリマス

第二ハ、國債ノ元利金ニ付テハ、其ノ消滅時効完成シタル場合ニ於テモ、是ガ支拂ヲナシ得ルコトセントスルコトデアリマス、國債ノ元利金ニハ概ネ十年及ビ五年ノ消滅時効期間ガアルノデアリマシテ、從來政府ニ於キマシテハ、時効完成シタル國債ノ元利金ニ付テハ、是ガ支拂ヲナサザル取扱ヲシテ參ツトデアリマス、此ノ爲ニハ凡ル國債元利金ノ支拂ノ際ニハ、消滅時効ガ完成シ居レルヤ否ヤヲ調査シナケレバナラナイノデアリマシテ、年々國債發行額ガ増加スルニ伴ヒ、日本銀行其ノ他ノ國債事務ガ増嵩シテ參ツテ居リマス際、出來得ル限り國債元利拂事務ノ簡捷化等ヲ圖ルヲ適當ト認メタノデアリマス、以上ニ鑑ミマシテ今般當分ノ内、凡ル國債ノ元利金ニ付テ、其ノ消滅時効ガ完成シタル場合ニ於テモ之ヲ支拂ヒ得ルコトヲ致サントスルモデアリマス

最後ハ大東亞戰爭ニ關スル一時賜金公債ヲ無記名證券ヲ以テ交付シ得ルコトヲ致サ

ントスルコトデアリマス、昭和十五年以來、大東亞戰爭ニ關スル一時賜金公債ハ登錄國債ト致シマシタル上、賜金受給者ニ對シ、記名證券ヲ發行交付シテ居ルノデアリマス

ルガ、賜金受給者ガ多ク、又賜金公債ノ發行額ガ多額デアリマス爲メ、記名式ノ賜金國庫債券ノ印刷、發行及ビ交付ニハ多數ノ人員及ビ手數ヲ要シテ居ルノデアリマスノデ、昭和十五年法律第六十九號ノ改正ヲ行ヒ、當分ノ内大東亞戰爭ニ關スル一時賜金公債ハ、之ヲ登錄國債ト爲サズ、無記名證券ヲ以テ交付シ得ルコトトシ、以テ是ガ發行交付ニ關スル事務ヲ簡捷化スルト共ニ、是ガ交付ノ迅速化ヲ圖ラントスルモデアリマス

以上五件ノ法律案ニ付キマシテ、何卒御審議ノ上、速カニ御賛成アラシコトヲ御願ヒ申上ゲマス

○豐田委員長 是カラ付託サレマシタ法案ノ審議ヲ致スノデスガ、御承知ノ通り今同ハ臨時議會會期ガ短時間デアリマスルガ故ニ、審議ノ便ヲ圖ル上カラ、先ヅ五ツノ法案ヲ順次ニ審議ニ上サウト思ヒマス、第一ニハ會計法戰時特例中改正法律案ヲ審議ニ上セタイト思ヒマス、何カ御質問ガアリマスレバ一ツ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス、御質問ガナケレバ本日は是デ質問ダケハ打切ツテ、採決ハ何レ代議士會其ノ他ノ議ヲ經ナクテハナリマセヌカラ、其ノ手續ヲシタ上デ決定致シタイト思ヒマスガ、皆サンノ中デ政府ニ對シテ御質問ナサラウト云フ點ガアリマスレバ、此ノ際御發言ヲ願ヒタイト思ヒマス

○川副委員 チョット一ツ——「政府ニ於テ賣買、貸借、請負」ト云フ此ノ請負ハドンナ

種類ノ請負デアリマスカ

○窪谷政府委員 請負ハ主トシテ土木、營繕其ノ他普通ニ言ツテ居リマス請負デアリマス

○川副委員 是ハ港灣ナシカノ荷役賃デスガ、實例ヲ申上ゲマス、軍港地ナシカニ於テ軍カラ港灣ノ荷役ヲ請ケマス會社ガアリマス、此ノ下金ガ非常ニ遅イノデアリマス、土木建築ノ方ハ前渡金トカ概算拂トカ云フヤウナコトデ受ケテ居リマスケレドモ、荷役ニ關スル下金ハ前渡或ハ概算拂ト云フコトガナイヤウデアリマス、是ハ海軍關係ハ大藏省デハ分リマセヌカ

○窪谷政府委員 荷役ニ付キマシテハ勞力ノ供給ヲ請負ヒマスルモノニ對シマシテハ、現行ノ會計規則等戰時特例ト云フノゴザイマシテ、其ノ規則デ動イテ居ル筈デゴザイマスガ、詳細海軍省ノ方トモ打合セマシテ、成ベク支拂ノ遅レマセヌヤウニ處理ヲ致シタイト思ヒマス

○池本委員 會計規則ヲ見テミマス、マダ要ラヌヤウナモノガアルヤウニ思ハレマス、是ハ勅令事項ダカラ吾々ノ關スルコトデハナイノデスケレドモ、斯ウ云フモノニ付テ例ヘバ指名競争契約ノ中ノ金額ノ制限、ソレカラ隨意契約ノ金額、斯ウ云フヤウナモノニ付テ、何カ引上ゲルトカ何トカ云フ御考ヘガアリマスカ

○谷口政府委員 仰セノ通りニ會計規則ノ中デモ、手續ガ簡易ニナルヤウナモノガアリマシタナラバ、是ハ研究ノ上デ適當ニ處置致シタイト思ツテ居リマス、只今御話ノ點デアリマスルガ、今回ノ會計法戰時特例中改正法律ノ中ニ、必要ト認メタナラバ隨意契約ヲナシ得ルト云フコトニ致シテ居リ

マシテ、一切ノ場合ニモ始ラ隨意契約ガ出來ルヤウニナツテ居リマス、唯御存ジノ通り、不動産ノ賣拂ヒニ付キマシテハ、依然トシテ隨意契約ヲ許サナイコトニナツテ居リマス、今御話ノ通りニ會計規則ノ中ニハ千圓以下ノモノデアレバ、隨意契約ニシテ宜シイト云フヤウナ規定ガアルノデアリマスガ、是等ノ點ニ付キマシテハ少シ金額ヲ高メマシテ、五千圓ガ宜イカ一万圓ガ宜イカ能ク研究致シマシテ、ソレ以下ノモノハ不動産ノ賣渡シニ付キマシテモ、隨意契約ガ出來ルヤウニ致シマス、是ハ一例デアリマスガ、只今仰セノ通り會計規則ノ中デハ能ク調べマシテ、簡單ニ出來ル點ハ是ハ法律デナシニ勅令ダケデ出來ル譯デアリマスカラ、出來ルダケ簡單ニ致シタイ、斯様ナ考ヘデアリマス

○豐田委員長 如何デセウ、此ノ法案ニ對シテ質問ガマダアリマス——ナケレバ一應此ノ法案ダケ質問ヲ打切ツタコトニ致シマス

○豐田委員長 次ニ國有財産法中改正法律案ニ付テ審議ヲ進メテ戴キタイト思ヒマス——何カ御質問ガアリマスカ——アリマセネバ是モ前會計法戰時特例中改正法律案ト同ジヤウニ、本日質問ヲ是デ打切ツタコトニ計ラツテ置キタイト思ヒマス、ソレデハ本日ハ是デ散會シマシテ、明日午前九時ヨリ續行スルコトニ致シマス

午後七時三十三分散會

昭和十八年十月二十七日印刷

昭和十八年十月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局